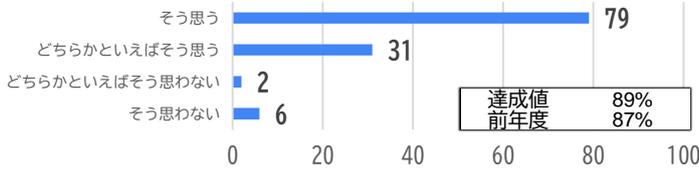
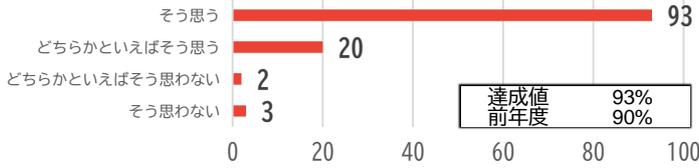


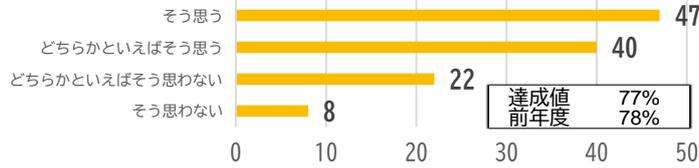
① 学校は、楽しい。



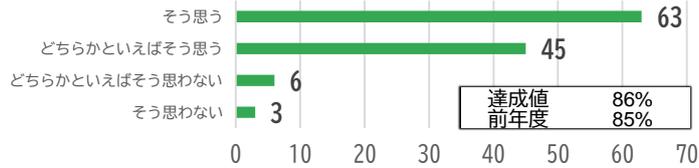
② 体験したり、交流したりする授業が楽しい。



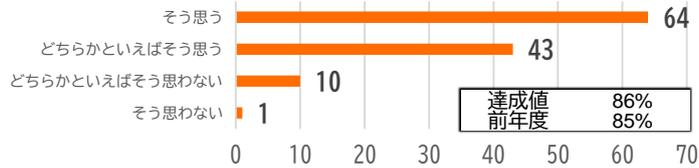
③ 困ったときは、先生に相談するようにしている。



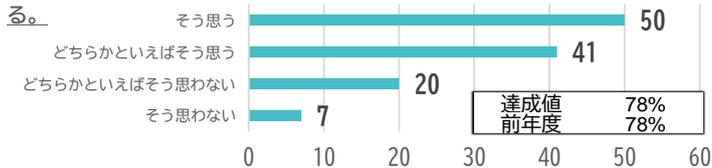
④ あいさつを進んでしている。



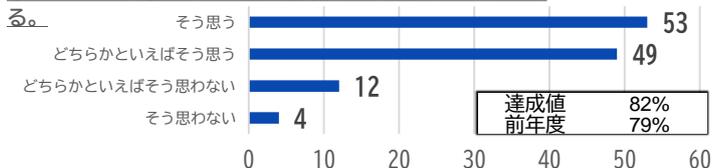
⑤ 授業がよく分かる。



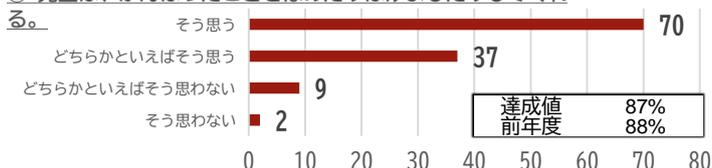
⑥ 授業で、自分の考えや意見を書いたり話したりできてい



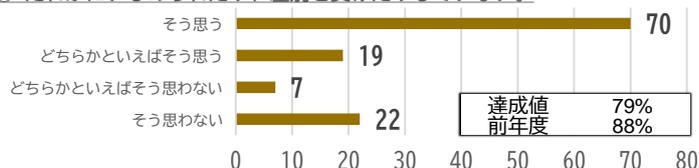
⑦ チャイムを守ったり、整理整頓をしたりすることができ



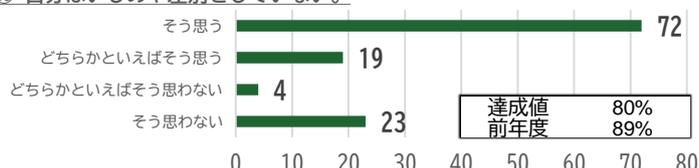
⑧ 先生は、がんばったことをほめたりはげましたりしてくれ



⑨ だれかにいじめられたり、差別を受けたりしていない。



⑩ 自分はいじめや差別をしていない。



⑪ 友だちを大切に、やさしくすることができている。



●今年度「期待の登校 満足の下校」を掲げ、教育活動に取り組みました。達成値は微増したものの目指す90%以上には届きませんでした。子供たちが「登校時には学校生活を思いワクワクした気持ちになり、下校時には一日を振り返って自分の成長を実感できる楽しい学校」になるように取り組みを進めていきます。

●本項目は、今年度特に力を入れました。人権教育等に多くのゲストティーチャーを招いたり、オンラインで全国の牛島小学校との交流活動を行ったりしました。達成値の向上は、その成果の現れでないかと考えます。体験や交流は子供たちの知的好奇心を刺激し、豊かな情操を養います。

●昨年とほぼ同等の達成値です。今後とも子供たちからの訴えを聞く時間をしっかりと確保していきます。自分から申し出ることの苦手な子にも目を向け、様子に違和感を感じたら学校側から積極的に声をかけます。また担任外の教職員も相談にのれるよう体制を整えていきます。

●本校の大きな課題であると感じています。実感としては達成値より低い印象を受けます。来客者や地域の方々にも気持ちのよい挨拶ができ、多くの方と円滑な人間関係が築けるよう今後とも働きかけていきます。

●昨年度と同等の達成値です。授業の導入を工夫し、子供たちの学習内容に対する意欲・関心を高め、よく聞く態度の育成に努めます。また、授業のめあてを明確にし、子供たちが自身の理解度や成長を実感できるようにします。

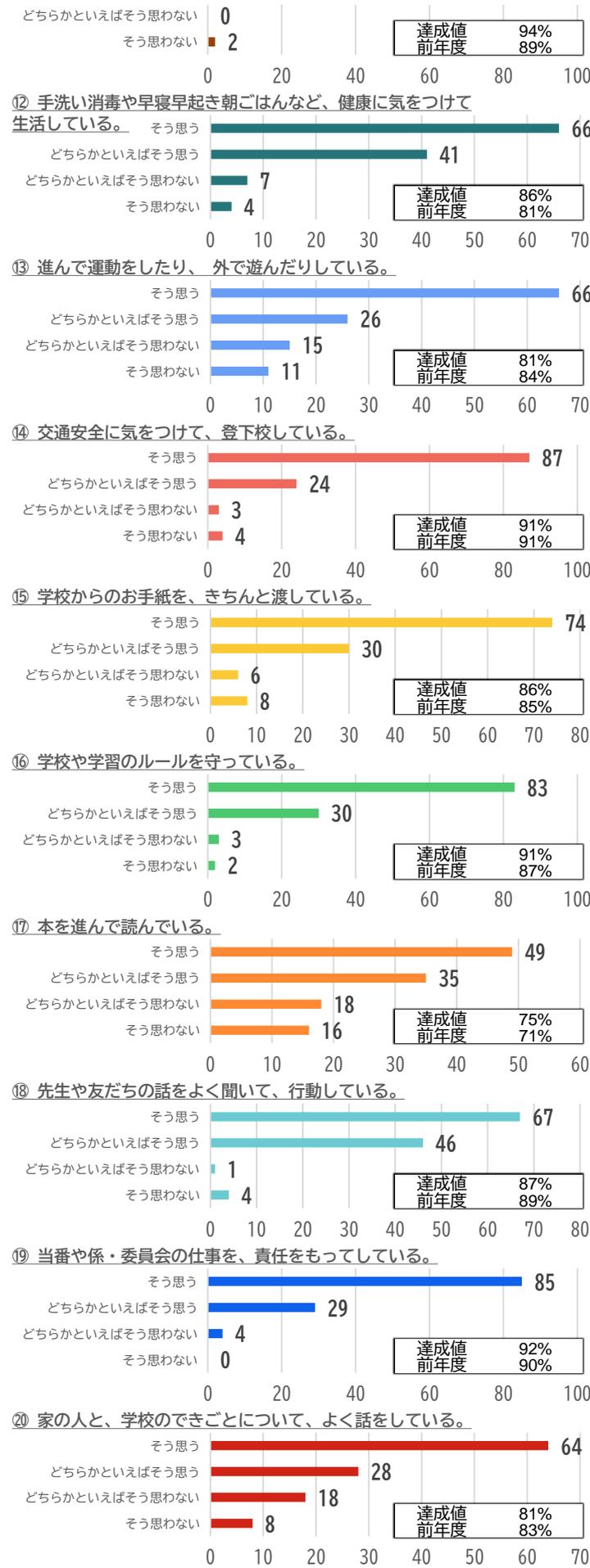
●ICT教育普及により手書きに加え、キーボード入力での表現力育成も求められています。相対的に話す能力の育成に関する時間は削減される傾向にあります。本校では、言葉による表現力の育成に注力し、集団で話し合うことで考える力の向上や多様化を進めていきたいと思っています。

●昨年度より若干向上しています。今年度も一時期、時間に対する意識が下がり、チャイム通りに授業を始めることが難しい時期もありましたが、全校的な取り組みにより改善されました。スリッパをよく整えられています。

●昨年度と同等の達成値です。近年、学校をあげて児童に肯定的な言葉がけをするポジティブ行動支援に取り組んでいます。頑張っていない子供はいません。褒めるべき行為を見逃さず、適宜声がけていきます。

●⑨⑩ともに達成値が大きく減少しています。ただし他校と比べ、いじめや差別などの事象が多いとの実感はありません。しかし、多くの子供たちが本校にいじめや差別の存在を感じていることはまぎれもない事実です。早急な対応が必要だと感じています。ただ、これは⑩の調査結果との矛盾も含めて考えると、吉野川市人権教育研究会にむけての授業実践により子供たちの人権意識の高まりがあったのではないかと思います。こうした意識の高まりをチャンスとして捉え、さらなる人権啓発を進めていきます。また、自分は優しくしているつもりが、相手の受け取り方が違うと言うこともあるようです。相手の立場に立った言動を心がけるよう学習を進めていきます。

●昨年度より達成値が向上しました。市人権教育研究会に向けて取り組んだ成果が出たと考えます。今後とも他者を思いやる心構の育成に努めます。



と比べて、心情的な成長に繋がります。

●昨年度に比べ達成値が向上しました。児童への保健指導、家庭への啓発の効果だと考えますしかし、実感としては夜遅くまでゲームをしたり動画を視聴したりして、朝から眠たそうな子供たちが一定数います。今後とも取り組みを継続していきます。

●3%低下しています。本校児童は、休み時間に比較的自由にし、屋内で過ごしている児童も一定数います。身体を動かしたり、日光を浴びたりすることは、気分転換になるだけでなく、身体的にも精神的にもよく、学習への集中力も高めます。外遊びの推奨を強化します。

●90%を超える達成値ですが、地域の方より登下校について様々な指摘を受けているという事実があります。学校敷地内でも駐車場から車両通行道へとびだしたり、複数列で走ったりする行為も見られ、引き続き啓発を継続する必要があると考えます。

●マチコミなどの活用により、その機会は大きく減少していますが、子供を通して手紙を渡すことは、学校に関する親子の情報共有やコミュニケーションにもつながると考えます。お子様とあつたら「学校からの手紙ないで」の声をかけをお願いします。

●達成値は向上しています。確かにこのところ多くの児童がルールを守って落ち着いた学校生活を送っています。ただ今年度に入ってずっとよかったというわけではありません。今後ともルールの意味や効果を理解させながらお互いに心地よく過ごせるよう指導していきます。

●75%とという低い達成値です。週末借りた本を読まずにそのまま返すケースもあるようです。読書は創造力を育み、生活をする上で必須となる会話や文章からのイメージする力を向上させます。動画は情報は得られるものの一方的に受け取るのみです。保護者の皆様からも本の面白さを子供たちに伝えてください。

●昨年度より微減しています。どこの学校でもこの項目は低下しているように感じます。人の話に耳を傾けることは、学習や仕事をするうえでも人間関係を良好に保つうえでも、極めて大切なことです。今後とも啓発していきます。

●92%という高い達成値が示すように、本校は責任感を持って掃除や係の仕事をしている児童が多いと感じます。子供たちの表情からは、人の役に立つことを喜びと捉えることができているように思います。ご家庭での教育の成果も大きいと考えます。

●昨年度より微減しています。学校では親子の共通の話題となるような学習活動を増やしていきたいと考えています。ご家庭でも学校生活をポジティブに捉えることができるような会話を子供たちと知っていただけるようお願いいたします。